

「木地師」について調べるには

ろくろを使用して椀・盆などの円形の挽きもの木地を作る工人を木地師と呼びます。仕上がった木地は卸屋や仕入屋、塗師屋に納めました。材料に適した木がなくなると、良材を求めて新しい土地に移りました。東近江市の鈴鹿山中の小椋谷は、全国の木地師の出身地と言われます。伝承によると、平安時代に文徳天皇の第一皇子惟喬親王は即位の機を失って小椋谷に入り、この地の人にろくろ技術を伝えたといわれます。その後、木地師は小椋谷から全国に散らばっていったといわれています。（『まるごと東近江市百科』より）



図書館の資料で調べる

◆『永源寺町史 木地師編上下巻 通史編』

永源寺町／編、2001年

惟喬親王伝説から現代に至るまでの歴史、^{うじこかりちょう}氏子駈帳などの関係文書、年表などの詳しい記載があります。永源寺町の歴史や文化と関連して記載されています。

◆『木地師の習俗 1(滋賀県・三重県)』

文化財保護委員会／編、平凡社、1968年

滋賀県内における木地師の分布や習俗、木地師制度、生活習俗、生産過程などについて詳しく書かれています。

◆『惟喬親王と木地師の物語』

蓮沼 州子／著、2000年

各地に残る惟喬親王伝説と史跡について考察し、また木地師発祥の地として永源寺に関する内容が記載されています。

◆『木地屋のふるさと』

橘 文策／著、未来社、1963年

木地師の生活と蛭谷文書から見る著者の考察、ろくろの変遷などについて記載されています。

◆『木地師のふるさと 永源寺町』

永源寺町／編、1997年

児童向けに、漫画で分かりやすく永源寺の木地師について説明しています。

◆ビデオ『蛭谷 筒井神社の祭礼』

永源寺町教育委員会／企画、1993年

惟喬親王伝説に係る筒井神社の祭礼を記録しています。

【参考】 全国の木地師についての資料

◆『木地師と木形子』

杉本 寿／著、翠楊社、1981年

歴史、組織制度、仕事など、木地師について記載があります。長年にわたり木地師研究を行なった著者による本格的な解説書です。

◆『木地師制度の研究 1・2』

杉本 寿／著、清文社、1974年

全国各地の木地師の歴史や制度について考察されています。「近江国」の項はなく、周辺国の項に永源寺関連の記載が見られます。

◆雑誌『木地師研究』

日本木地師学会

日本木地師学会の発行する会誌です。全国の木地師についての研究が記載されています。